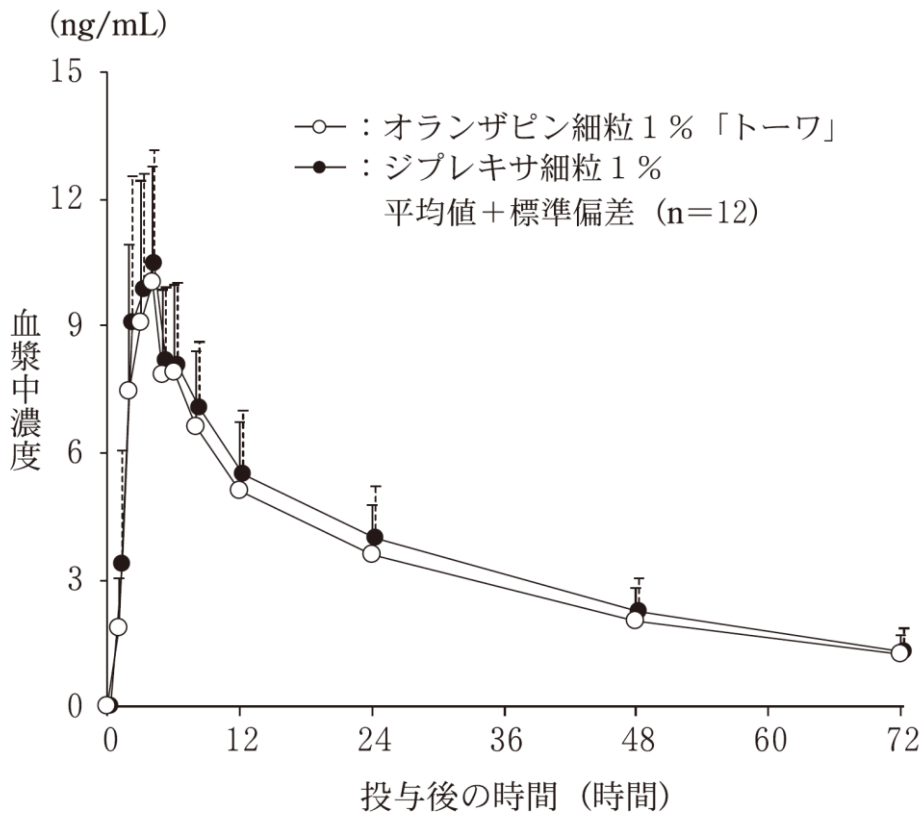


オランザピン細粒 1%「トーワ」の生物学的同等性に関する資料

オランザピン細粒 1%「トーワ」とジプレキサ細粒 1%を、クロスオーバー法によりそれぞれ 0.5g(オランザピンとして 5mg)健康成人男子に絶食単回経口投与して血漿中未変化体濃度を測定し、得られた薬物動態パラメータ(AUC、C_{max})について 90%信頼区間法にて統計解析を行った結果、log(0.80)～log(1.25)の範囲内であり、両剤の生物学的同等性が確認された。¹⁾



薬物動態パラメータ

	判定パラメータ		参考パラメータ	
	AUC ₀₋₇₂ (ng・hr/mL)	C _{max} (ng/mL)	T _{max} (hr)	t _{1/2} (hr)
オランザピン細粒1%「トーワ」	236. 8±74. 8	10. 31±2. 79	3. 8±0. 9	30. 04±3. 86
ジプレキサ細粒1%	259. 1±73. 8	11. 19±2. 54	3. 3±1. 1	30. 43±4. 96

平均値±標準偏差、n=12

血漿中濃度並びに AUC、C_{max} 等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。

両製剤の判定パラメータの対数変換値の平均値の差及び 90%信頼区間

パラメータ	AUC ₀₋₇₂	C _{max}
平均値の差	log(0.9067)	log(0.9113)
平均値の差の 90%信頼区間	log(0.8648)～log(0.9506)	log(0.8548)～log(0.9717)

1) 坂本慶他：新薬と臨牀. 2016 ; 65(4) : 522-533